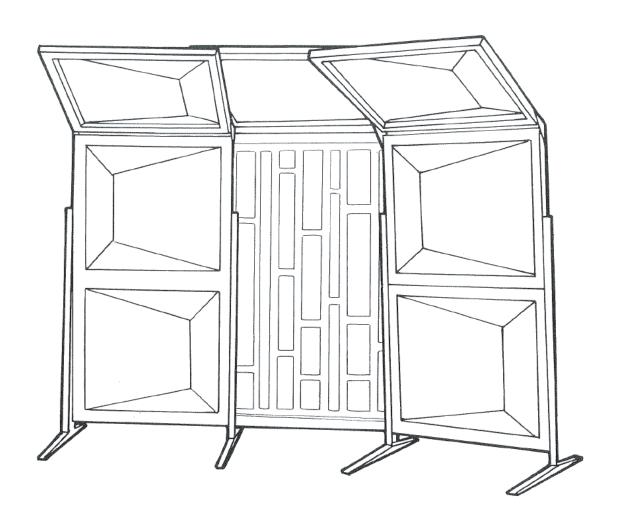


Travelmaster Owner's Manual トラベルマスター・オーナーズマニュアル



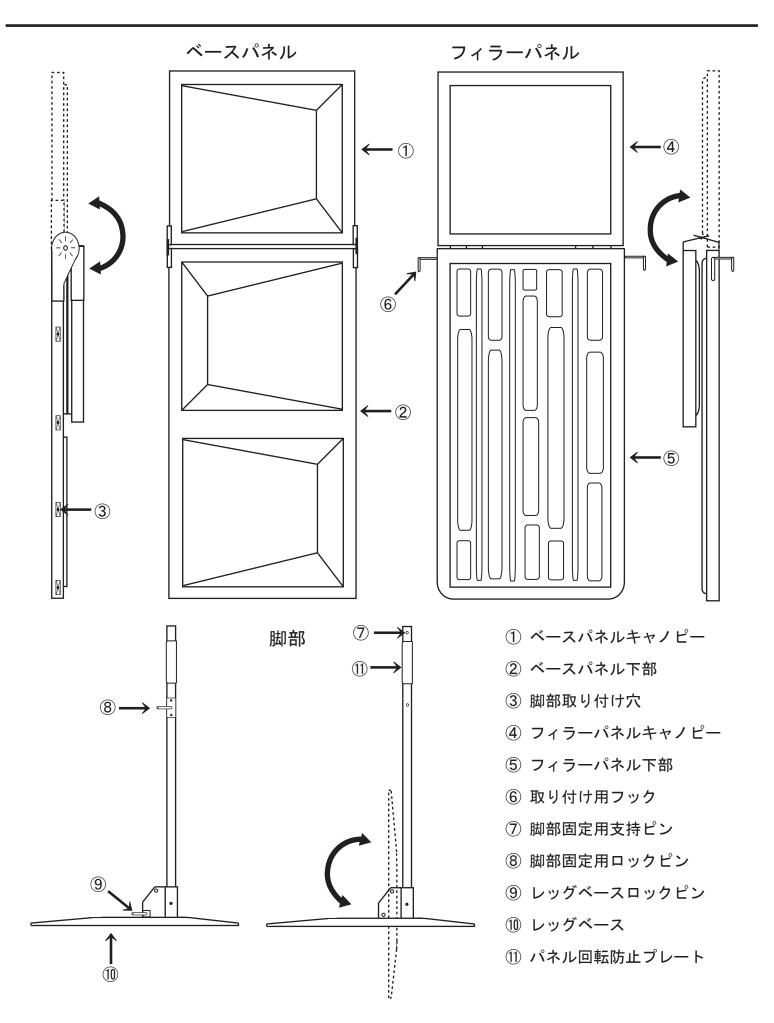
各部	က း	名和	沵																	P1
設置	枚	数(カ	目	安	ع	寸	法		外	形	寸	法	図						P2
設置	方	法					٠				٠									P3 ∼ P7
ベー	ス	/ % :	补	ル	の :	組	4	立	て	方	٠	٠	٠	•	•	•	•	•	•	P3
脚部	<i>ත</i>]	取	IJ	付	け		•			•	٠		•	•	•	•	•	•	•	P4
キャ	ノ	ピ-	_,	/ %	ネ	ル	の	展	開	•	٠	٠	٠	•	•	•	•	•	•	P5
フィ																				
パネ	ル;	連絡	結	後	の	配	列	調	整	•	٠	٠	٠	•	•	•	•	•	•	P7
収納																				
安全																				
お手	入	h	カイ	(士)	方						٠	•								P10

本製品を正しく安全にお使い頂くためにご使用頂く前に必ず本書をお読み下さい。

本書に記載されております警告・注意と書かれた事項は、お使い頂く方の安全と、製品・財産の損傷を防ぐために重要な内容が記載されておりますので、 必ず内容をお守り下さい。

お読みになりました本書はいつでも 見られる場所に大切に保管して下さい。

各部の名称



設置枚数の目安と寸法・外形寸法図

設置枚数別寸法表

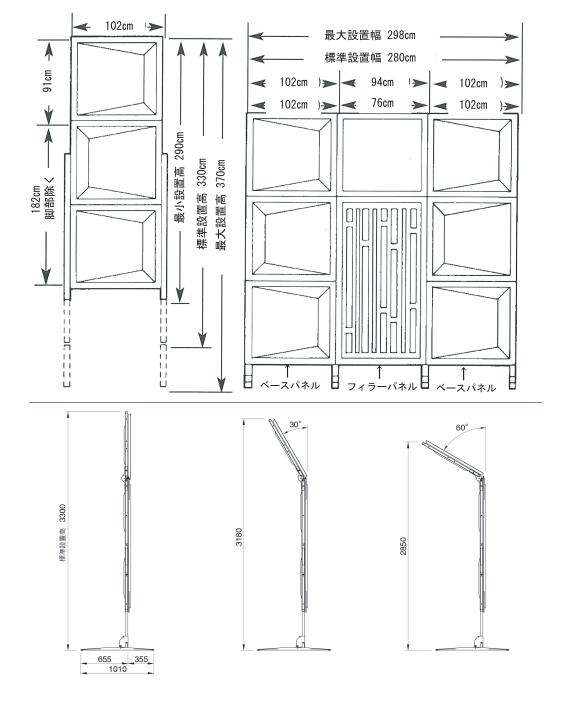
用途	合計枚数	ベースパネル	フィラーパネル	設置幅 (mm)	演奏者数 (人)
	5枚	3枚	2枚	4, 928mm	36~48人
	7枚	4枚	3枚	6, 883mm	48~64人
コーラス	9枚	5枚	4枚	8, 839mm	60~80人
	11枚	6枚	5枚	10, 795mm	72~96人
	13枚	7枚	6枚	12, 751mm	84~112人



佐 牛 本製品を屋外で使用しないで下さい 属による突発事故の危険性があります。



		Ī	面	側	面		設置幅(mm)			
用途	合計枚数	ベースパネル	フィラーパネル	ベースパネル	フィラーパネル	正面	側面	合計	奥行き	演奏者数 (人)
	21枚	6枚	5枚	6枚	4枚	10, 795mm	3, 484mm	14, 279mm	3, 484mm	60~75人
バンド オーケストラ	27枚	7枚	6枚	8枚	6枚	12, 751mm	4, 867mm	17, 617mm	4, 867mm	85~96人
3-7217	29枚	8枚	7枚	8枚	6枚	14, 707mm	4, 867mm	19, 573mm	4, 867mm	100~110人



ベースパネルの組み立て方・脚部の取り付け

▶組立設置作業の前に●

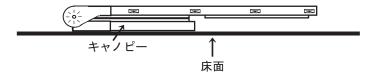
組立作業は必ず十分に広いスペースが 確保できる平な場所で行って下さい。

注意

安全確保のため、組立設置作業は 周囲の状況が常時確認できる様、 数人で行って下さい。

学生の方がご使用される場合 安全確保のため、組立設置作業は 監督者の方が行うか、立会指示の 下で行って下さい

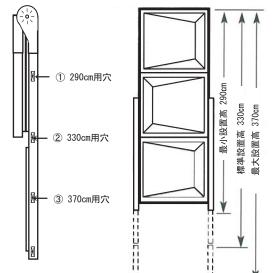
ベースパネル本体をキャノピーパネルが Step1 下になるように床に伏せた状態で置きます。



① 290㎝用穴

本製品は設置時の床面からキャノピー上部までの高さを 脚部を取り付ける穴の位置を変更する事により3段階に Step2 調整する事ができます。

> 図を参考に設置高をお選び頂き、脚部の取り付け穴の 位置をご確認下さい。

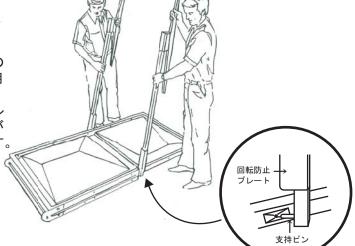


取り付け穴の位置が決まりましたら、パネル側面の 脚部取り付け穴に脚部側面上部に出ている固定用 支持ピンを差し込みます。

Step3 側面のフレーム部分とが当たらないよう、脚部が パネルと垂直になる状態で支持ピンを差し込みます。

> * 脚部は右用左用があります。 左右それぞれ支持ピンがパネルの内側に来る 物をご使用下さい。

このとき、脚部のパネル回転防止プレートとパネル



ベースパネルの組み立て方・脚部の取り付け

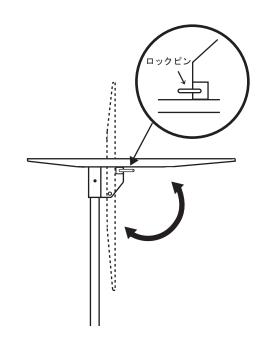
Step4

レッグベース部にあるレッグベースロックピンを 手前に引きながらレッグベースを90°回転させます。 脚部の支柱部分とベース部分が水平になる位置で ロックピンが内部のスプリングの力により自動的に 穴に入りロックされます。



注意 数回上

パネル転倒防止のため、レッグベースを 数回上下させる様に動かして、ロックピンが 確実に穴に入った事を必ず確認して下さい。



Step5

レッグベースが床面に着く位置まで脚部を下げます。 脚部にある脚部固定用ロックピンを手前に引きながら パネルの下部をゆっくりと持ち上げて行き、パネルの フレーム部分が、脚部のパネル回転防止プレート内に 収まる位置まで持ち上げ、引いている脚部固定用 ロックピンから手を離して下さい。

ロックピンが内部のスプリングの力により自動的に 穴に入りロックされます。



注意

パネル転倒防止のため、脚部の支柱部分を ・数回上下させる様に動かして、ロックピンが ・確実に穴に入った事を必ず確認して下さい。

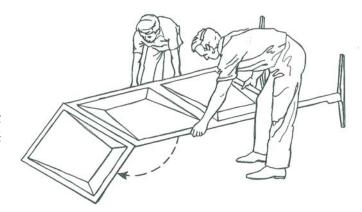


ベースパネルの組み立て方・キャノピーパネルの展開・自立

脚部を取り付け終わったパネルの中ほどを持ち、 キャノピーパネルを前方に展開させます。 キャノピーは細かく角度調整ができる様数段階に

キャノヒーは細かく角度調整ができる様数段階 Step6 フック機構が付いています。 前面に開いて行くにつれてカチカチとそのつど

フックが掛ります。 設置時のキャノピーの角度はこの時点では決めず、 組み立てる段階では60°程度開いた位置でフックが 掛った事を確認してキャノピーの上部が床に着く様 にパネルを一旦降ろしてから自立させる作業に 移って下さい。



パネルの下部と中ほどを持って引き起こす様に自立させます。 引き起こす際にパネル全体をレッグベースが床から少し離れる 程度に持ち上げながら起こして下さい。

Step7 レッグベースが床面に着いたままレッグベースの先端を支点にパネルを引き起こしますとレッグベースに無理な力が掛り、ベースのロックピンを破損する恐れがあります。



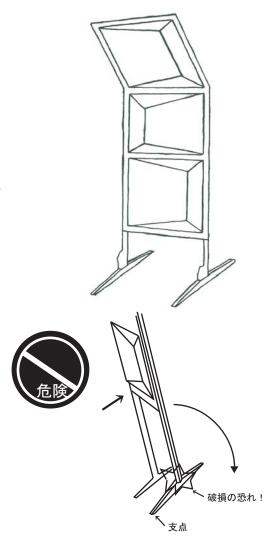
数 生 パネルの転倒事故につながりますので、 言 古 引き起こす際、勢いよく引き起さないで



主意 パネルを引き起こす際、作業者以外に 周囲に人や物が無い事を確認してから 引き起こす作業をして下さい。



パネルを引き起こす際、頭上を確認 注意 して下さい。自立したパネルは2.5mを 超える高さとなりますので必ず頭上に 何も無い事を確認して作業を行って下さい



フィラーパネルの取り付け方

組み上がったベースパネルすべてを舞台上などの 設置場所に運び、ベースパネル同士の間隔を Step8 フィラーパネルが入る90cmほど空けながら 配置して行き、フィラーパネルをベースパネルの 後ろ側の空けたスペースにキャノピーパネルが上に くる様に床に伏せて置いて行きます。

> フィラーパネルを垂直に起こした状態で配置してある ベースパネルのキャノピーと同じ位の角度までフィラー パネルのキャノピー部分を開いて行き、そのままの状態で フィラーパネルのキャノピーの端が、2枚のベースパネルの キャノピーの両端に乗る位置まで持ち上げ、フィラーパネルの キャノピー部分がベースパネルのキャノピーに乗った事を 確認してから、ベースパネルのキャノピー部分の上を滑らせる 様にフィラーパネルのキャノピー部分を押し上げて行き、 フィラーパネルのキャノピー部分がベースパネルのキャノピーに 乗り上げた状態にします。



Step9

フィラーパネルのキャノピー開閉機構には ロック機能がありません。 手などを挟む危険性がありますので、

開閉時にはキャノピーから手を離さない 様にして下さい。

フィラーパネルのキャノピーをベースパネルの キャノピーに乗せる際、フィラーパネルの キャノピーを90°起こした状態から倒しこむ様に 注意 乗せますと、倒した勢いでベースパネルの キャノピーも同時に倒れこみ思わぬ怪我をする 事がありますので、フィラーパネルのキャノピ は静かに乗せ上げて下さい。

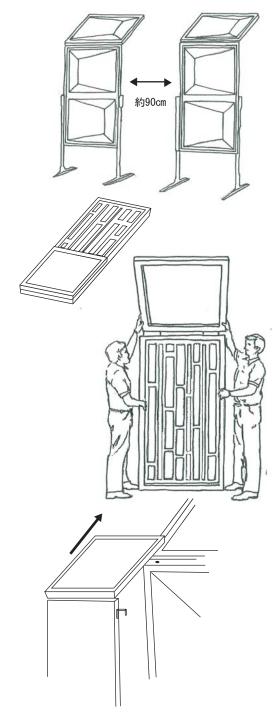
フィラーパネルのキャノピーがベースパネルのキャノピーに 乗った状態からフィラーパネルをベースパネルの上部よりも 少し高い位置まで持ち上げ、フィラーパネル上部の両端にある Step10 鉤状のフックをベースパネルの上部にあるフィラーパネル

> フック用の穴にパネルをゆっくり降ろしながら差し込んで行き、 穴にフック先端が完全に掛った事を確認してからパネルから手を離し

フィラーパネルをベースパネル間に吊り下げます。



パネル落下による事故の危険がありますので フィラーパネルのキャノピー部分をベース パネルのキャノピーに乗せただけのフック されていない状態でパネルから手を、 離さないで下さい。



パネル連結後の配列調整・

- フィラーパネルの取り付けと各パネルの連結が終了した後、
- *キャノピーパネルの最終的な角度を調整して行きます。 ** 角度調整の際、フィラーパネルのキャノピーはベースパネルの
- *キャノピーに乗せた状態のまま行って下さい。
- Step11 キャノピーの角度は、推奨する垂直状態から30°60°の3段階の中から状況に応じて選択して下さい。

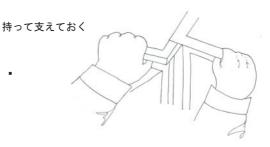






キャノピーの角度調整は必ず安定した台の上でパネルの前面より行ってください。 * その際に、補助の方がパネルを支えた状態で行うとキャノピーパネルを動かす事が楽に行えます。 調整作業は、フィラーパネルのキャノピーを持ちなが

Step12 調整作業は、フィラーパネルのキャノピーを持ちながら 1枚ずつベースパネルのキャノピーを操作してください。 ** 各パネルのキャノピーを垂直にしてご使用される場合、 始めにフィラーパネルのキャノピーを垂直にフィラー パネル本体の上部に乗せる様に立ててからベースパネルの・ キャノピーを1枚ずつ起こして行ってください。・





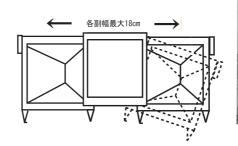
警告

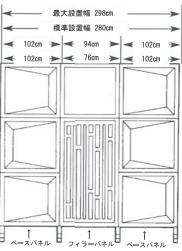
フィラーパネルのキャノピーを乗せたまま 2枚同時にベースパネルのキャノピーを操作しますと30°程度の浅い角度に調整した場合フィラーパネルのキャノピーが勢いで垂直に近い状態まで浮き上がり、戻る際に手などを挟む危険がありますので必ず一枚づつ操作を行って下さい。

Step13



調整時、ベースパネルを左右に繰り送る際、ベースパネルのキャノピーに乗っているフィラーパネルのキャノピーが脱落しない様、少しづつ頭上を確認しながら行って下さい。



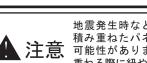


収納保管方法

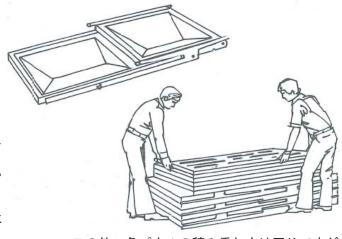
収納スペースやご使用状況により次の様な方法で収納ができます。

Pattern 1 基本収納方法

- 1:設置組立時とは逆の手順で各パネル共、 キャノピーパネルを折りたたみ脚部を外した 状態に戻します。
- 2: 脚部をベースパネル組立時とは逆の、 キャノピーパネル部分にレッグベース部分が 来る様にベースパネルに取り付けます。
- 3: 脚部の取り付けを終わったベースパネルから順に、 最初の一枚を床面とパネル面が平らになる様に、 キャノピーパネルを上にして収納場所に伏せます。
- 4:最初に伏せた一枚目に今度はキャノピーパネルを下にして2枚目が上下逆になる様積み重ねます。
- 5:同じ要領で2枚目以降を積み上げて行き、その上に フィラーパネルを同様に積み上げて収納します。



地震発生時などの揺れや衝撃により、 積み重ねたパネルが荷崩れを起こす 可能性がありますので、パネルを積み 重ねる際に紐やラッシングベルトなどで 固定した状態で保管する事をお勧めします



*この他、各パネルの積み重ね方は同じですが、 脚部は外したままの状態で別保管する方法なども あります。

Pattern 2 専用カート使用

別売のトラベルマスター専用移動用カートAC-4 1台にベースパネル5枚・フィラーパネル4枚、 脚部左右5本づつ10本を収納して、 カートごと保管します。



警4

カートに乗せてパネルを保管する際やパネルの移動設置後、空のカートのみ保管する場合などでも、地震等により、カートが自走しない様、必ずキャスター部分のロックをかけて下さい。

Pattern 3 自立させたまま収納

- 1:フィラーパネルを外し、ベースパネルを 自立させた状態で収納場所の壁面に向けて 繰り入れて行きます。
- 2:外したフィラーパネルはPattern2の要領で ベースパネルの付近に積み上げて保管して 下さい。



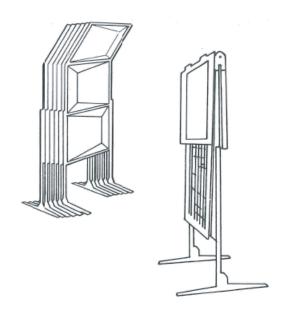
注意

この方法をとる場合、キャノピーパネルは 展開した状態でもかまいませんが、 地震発生時などで転倒する危険性を極力 少なくするため、キャノピーを畳んだ状態で 行う事をお勧めします。

3: フィラーパネルとベースパネルとを別保管せず、 フィラーパネルをベースパネルの背面に吊り下げて 両パネルを背中合わせの状態にして同様に繰り入れて 保管する事もできます。

この場合、両パネルのキャノピーは閉じて下さい。





安全のしおり

本製品を正しく安全にご使用頂くために必ずお読み下さい。





転倒防止のため本製品は、必ず平な場所でご使用下さい。 積み重ねて保管される場合も、床面が平らな場所で保管 して下さい。段差や凹凸のある場所で長期間積み重ねて 保管しますと、パネル本体やフレームに歪みが発生する 恐れがあります。



自立させたパネルに寄り掛かったり、物を立て懸ける行為は 危険ですのでお止め下さい。

特に、フィラーパネルは自立時の設置構造がベースパネルの 上部に吊り下げられただけの暖簾と同じ様な状態ですので、 特にご注意下さい。



自立させたパネルを移動する際、横向きに引っ張って 移動させないで下さい。

脚部に負荷が掛り、脚部を破損する恐れやパネル自身が 転倒する恐れがあります。

必ず持ち上げた状態で移動して下さい。



火器や高温を発生する熱源のそばでのご使用、保管は発火や 変形の恐れがありますのでお止め下さい。



定期的に保守点検作業を行って下さい。 常に安全な状態で本製品をご使用頂くために、 定期的に各部のネジの緩みやロック機構の状態 などを確認して下さい。 破損や摩耗が見受けられる部品はすぐに交換 して下さい。

お手入れの仕方

日常のよごれをクリーニングする際は、家庭用中性洗剤を ご使用頂き、よごれをふき取った後、水をよく絞った雑巾で 洗剤をふき取ってから乾いた雑巾などで、 よく水分をふき取って下さい。



注意

塩素系洗剤や有揮系溶剤などのご使用に変色の恐れがありますので、ご使用にならないで下さい。

定期的に点検をして頂く際、以下のポイントをご確認下さい。

- 1:ベースパネルのキャノピーが任意の角度できちんと フックされ、自然に下がって来る様な事が無いか、 色々な角度にキャノピーを開いて確認して下さい。
- 2:脚部のロックピンや、レッグベースのロックピンの スプリングにへたりやピンの変形などが無く、 確実にピンがロックされるか確認して下さい。
- 3:パネルを平らな場所で水平に自立させるために レッグベース底面の両端にある支点に破損や欠損が 無いか確認して下さい。
- 4:フィラーパネルの上部両端にあるフックに破損や 曲りが無い事を確認して下さい。
- 5: フィラーパネルのキャノピーがスムーズに開閉 できるか、フィラーパネルのキャノピー開閉用の ヒンジ金具に破損や歪みが無いか確認して下さい。
- 6:各パネルのフレームや脚部の支柱・回転防止プレート などに歪みや破損が無いか確認して下さい。

点検時に不具合が見受けられた製品は、ご使用を中止頂き、 取扱代理店または輸入代理店に修理・調整をご依頼下さい。 お客様ご自身による修理・補修した物により事故または、 製品の破損が生じた場合、保障の対象外となりますので ご注意下さい。

	取扱店	

 ${\tt URL:http://www.mnsv.co.jp}$